

## 小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
02	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</li> <li>必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者（医師）の再雇用制度を効果的に運用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初の看護師数を571人から590人に増員し、長時間勤務やローテーション維持などが改善し、時間外勤務時間数は、約1.3時間/人減少した。</li> <li>当センターHPにて、常時看護師募集を行っており、採用試験は募集期間や応募者数を勘案した結果、3回実施した。また、看護学校の訪問や各種ガイダンス等への参加、新聞掲載等、雇用確保のため積極的に働きかけ昨年度に比較して同規模の採用ができた。(H25:78人→H26:77人)</li> <li>年俸を定めて給与を支給する非常勤医師 7人</li> </ul>	IV		看護師などの職員数を順調に確保し、診療体制の充実につなげていることは高く評価できる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行った病児・病後児保育に関するアンケートの調査結果の意見を踏まえ、平成27年度開設予定の新棟に設置予定である病児病後児保育所の実施やワークショップなど労務環境の改善について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所について具体的に検討することとし、職員のニーズを把握するため、平成24年度に「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。(調査対象：1,130人、回収率79.6%)</li> <li>上記アンケート結果を基に病児病後児保育所開設のために必要な課題を挙げ委員会を3回開催し、検討した。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>7:1看護体制（看護職員の二交代制）を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師人数（571人→590人）の増員などで、7:1看護体制を7.8%上回る体制を維持できた。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等の配置を充実させる。 [医師事務作業補助職員：50人（平成25年度）→51人、看護事務補助職員：31人（平成25年度）→31人]</li> <li>現状の15:1医師事務作業補助体制加算を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療クラーク：52人、病棟等看護クラーク：30人（平成26年度末）]</li> <li>現状の15:1医師事務作業補助体制加算を維持した。</li> <li>急性期看護補助体制加算25:1（現状は急性期看護補助体制加算50:1）が取得できるように看護師の</li> </ul>			

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
	<p>持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性期看護補助体制加算 2.5 : 1 (現状は急性期看護補助体制加算 5.0 : 1) を目指す。</li> <li>医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。</li> </ul>	<p>採用、計画的な配置等を継続して推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底し、医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導した。</li> <li>衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</li> <li>長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。</li> </ul> <p>代休等取得状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>35 件</td> <td>65 件</td> <td>46 件</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>856 件</td> <td>1,083 件</td> <td>1,176 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H24	H25	H26	代休取得	35 件	65 件	46 件	週休日振替	856 件	1,083 件	1,176 件			
区 分	H24	H25	H26														
代休取得	35 件	65 件	46 件														
週休日振替	856 件	1,083 件	1,176 件														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の充実を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始している。</li> <li>院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 18人/月 最大預かり児童数 43人/月 平均30.8人/月</li> </ul> <p>院内保育所の運営状況 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>38 人</td> <td>33 人</td> <td>43 人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10 人</td> <td>10 人</td> <td>9 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>病児保育については、平成27年度に完成予定の新病棟内に、病児保育室及び病後児保育室をそれぞれ設置するよう実施計画に盛り込んだほか、運用については「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」において継続的に検討している。</li> </ul>		H24	H25	H26	入所者数	38 人	33 人	43 人	保育士数	10 人	10 人	9 人			
	H24	H25	H26														
入所者数	38 人	33 人	43 人														
保育士数	10 人	10 人	9 人														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化し、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図っている。</li> </ul>															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に設置した総合相談センターを活用し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSW (社会福祉士) 1人増員により、新たな相談窓口を設置し、受付及び相談に対してなんでも相談を受け付ける体制にした結果、なんでも相談件数が増加した反面、医</li> </ul>															

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																		
		療相談件数が減少した。  平成26年度実績件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>がん相談</td> <td>3,406</td> </tr> <tr> <td>    がん相談支援</td> <td>1,569</td> </tr> <tr> <td>    セカンドオピニオン</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>    退院調整室</td> <td>1,792</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>8,286</td> </tr> <tr> <td>    なんでも相談</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>    セカンドオピニオン</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>    退院調整室</td> <td>7,604</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>4,033</td> </tr> </table>	がん相談	3,406	がん相談支援	1,569	セカンドオピニオン	45	退院調整室	1,792	がん以外の相談	8,286	なんでも相談	680	セカンドオピニオン	2	退院調整室	7,604	医療相談	4,033			
がん相談	3,406																						
がん相談支援	1,569																						
セカンドオピニオン	45																						
退院調整室	1,792																						
がん以外の相談	8,286																						
なんでも相談	680																						
セカンドオピニオン	2																						
退院調整室	7,604																						
医療相談	4,033																						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全に関する研修において、患者や家族への対応についても取り上げ、実施した。</li> </ul>																					
04	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。 平成26年度 受講予定 認定看護師2名、認定看護管理6名（ファーストレベル3名、セカンドレベル2名、サードレベル1名） 平成26年度 資格試験予定 認定看護師3名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。</li> </ul>	IV		看護師の学会等への参加が飛躍的に増加しており、高く評価できる。																		

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)	
		単位：人 (各年度末時点)						
		認 定	分 野	H24	H25	H26		
			がん化学療法	2	2	2		
			がん性疼痛	1	1	1		
			感染管理	2	2	3		
			救急看護	1	1	2		
			小児救急	1	1	1		
			摂食・嚥下障害	1	1	1		
			皮膚・排泄ケア	3	3	3		
			新生児集中ケア	1	1	1		
			集中ケア	-	1	1		
			糖尿病看護	-	1	1		
			がん放射線療法看護	-	1	1		
			乳がん看護	-	-	1		
			認定看護管理者	-	1	1		
		計		12	16	19		
		専 門	小児看護	2	2	2		
			がん看護	1	1	1		
		計		3	3	3		
		合計		15	19	22		
		・研修実績						
		項 目	内 容					
		認定 看護師	[長期] ・緩和ケア H26.10.1～H27.3.31 1人 ・慢性心不全看護 H26.10.1～H27.3.31 1人 ・認定看護管理者(サード) H26.9.1～H26.11.19 1人 ※平成27年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H25:3人→H26:6人 ・実習指導者講習会					

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証				
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	論 点	検 証 (案)			
			H25:0 人→H26:1 人 ・医療安全研修 H25:0 人→H26:2 人 ・岐阜県教員養成講習会 H25:1 人→H26:0 人						
		学会等 参加	・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 延べH25:312 人→H26:585 人						
05	<p>・コメディカルに対する専門研修の実施            診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <b>【中央放射線部】</b>            ・診療放射線技師実習施設指導者講習会            ・放射線治療セミナー            ・放射線治療品質管理士講習会            ・医学物理コース研修            ・がん医療における放射線の治療の品質管理高度専門セミナー            ・PET研修セミナー            ・I-131アブレーション研修セミナー            ・その他各種学会、研修会等への参加         </td> <td style="width: 50%;">           希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。         </td> </tr> </table>	<b>【中央放射線部】</b> ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・がん医療における放射線の治療の品質管理高度専門セミナー ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション研修セミナー ・その他各種学会、研修会等への参加	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。	<p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</p> <p>特に、各コメディカルでは医療法や施設基準等で定めた診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <b>【中央放射線部】</b>            ・日本放射線技術学会            ・全国自治体病院放射線部会研修会            ・日本放射線治療セミナー            ・日本核医学学術総会            ・日本磁気共鳴医学会            ・医学物理士ミニム講習会            ※H26 年度資格取得者            ・X線CT認定技師1人         </td> <td> <b>【臨床検査科】</b>            ・日本臨床衛生検査技師会            ・日本超音波学会            ・心臓リハビリテーション学会            ・日本臨床微生物学会            ・認定心電図検査技師講習会            ・日本輸血・細胞治療学会         </td> </tr> </table>	<b>【中央放射線部】</b> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニム講習会 ※H26 年度資格取得者 ・X線CT認定技師1人	<b>【臨床検査科】</b> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会	IV		<p>コメディカルの専門研修への参加者が多く、人材育成に熱心である。</p>
<b>【中央放射線部】</b> ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・がん医療における放射線の治療の品質管理高度専門セミナー ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション研修セミナー ・その他各種学会、研修会等への参加	希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。								
<b>【中央放射線部】</b> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニム講習会 ※H26 年度資格取得者 ・X線CT認定技師1人	<b>【臨床検査科】</b> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会								

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
	<p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞検査士</li> <li>・超音波検査士（循環器、消化器等）</li> <li>・認定輸血検査技師</li> <li>・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・感染制御認定臨床微生物検査技師</li> <li>・血管診療技師</li> <li>・認定心電検査技師</li> <li>・日本エコー図学会認定検査技師</li> <li>・認定一般検査技師</li> <li>・認定血液検査技師</li> <li>・認定管理検査技師</li> <li>・二級緊急臨床検査士</li> <li>・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等）</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん専門薬剤師</li> <li>・感染制御専門薬剤師</li> <li>・糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム（NST）専門療法士</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul> <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学会合同呼吸療法認定士</li> <li>・心臓リハビリテーション指導士</li> <li>・AHA BLS ICLS プロバイダ</li> <li>・日本糖尿病療法指導士</li> <li>・栄養サポートチーム（NST）専門療法士</li> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士</li> <li>・認定作業療法士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本心エコー図学会</li> <li>※H26 年度資格取得者</li> <li>・心臓リハビリテーション指導士1人</li> <li>・緊急臨床検査士1人</li> <li>・超音波検査士（消化器領域）1人</li> <li>・超音波検査士（血管領域）1人</li> <li>・超音波検査士（循環器領域）1人</li> <li>・認定心電図検査技師1人</li> <li>・2級臨床検査士1人</li> <li>・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者3人</li> <li>・有機溶剤作業主任者2人</li> </ul> <p>【薬剤センター】</p> <p>(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント)</li> <li>・全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般)</li> <li>・日病薬 新任薬剤師研修会</li> <li>・日本医療薬学会年会</li> <li>・日本薬剤師会学術大会</li> <li>・日病薬・日薬東海ブロック合同学術大会</li> <li>・日薬東海薬剤師学術大会</li> <li>・実務実習指導薬剤師ワークショップ</li> <li>・日本麻酔科学会 周術期セミナー</li> <li>・日薬病院診療所薬剤師研修会</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・岐阜県病院薬剤師会研修会</li> </ul> <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務実習指導薬剤師1人</li> </ul> <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会</li> <li>・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会</li> <li>・日本高次脳障害学会夏期教育研修</li> <li>・岐阜呼吸管理研究会</li> <li>・摂食・嚥下障害セミナー</li> </ul>			

項目 No.	H26 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定ハンドセラピスト</li> <li>その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>※H26 年度資格取得者</li> <li>呼吸療法認定士 3 人</li> </ul>																																			
	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本糖尿病療養指導士</li> <li>栄養サポートチーム (NST) 専門療法士</li> <li>病態栄養専門師</li> <li>その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>		<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本臨床栄養学会</li> <li>自治体病院栄養部会研修会</li> <li>岐阜県病院協会学会</li> <li>日本病院会栄養管理セミナー</li> <li>日本静脈経腸栄養学会</li> <li>日本病態栄養学会年次学術集会</li> </ul> <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本糖尿病療養指導士 2 人</li> </ul>																																			
	<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 学会合同呼吸療法認定士</li> <li>対外循環技術認定士</li> <li>透析技術認定士</li> <li>その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>		<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本臨床工学技士会</li> <li>岐阜県臨床工学技士会セミナー</li> <li>岐阜県臨床工学技士会学術大会</li> <li>医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会)</li> <li>透析液安全管理責任者セミナー</li> <li>日本人工臓器学会教育セミナー</li> </ul> <p>※H26 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホスピタルエンジニア 1 人</li> </ul>																																			
			コメディカル専門研修の参加人数 単位：人																																			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線技師</td> <td>51</td> <td>30</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>138</td> <td>100</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>172</td> <td>207</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>125</td> <td>69</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>45</td> <td>22</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>544</td> <td>438</td> <td>510</td> </tr> </tbody> </table>			H24	H25	H26	放射線技師	51	30	85	臨床検査技師	138	100	117	薬剤師	172	207	198	リハビリ技師	125	69	59	管理栄養士	13	10	11	臨床工学技士	45	22	40	合 計	544	438	510		
	H24	H25	H26																																			
放射線技師	51	30	85																																			
臨床検査技師	138	100	117																																			
薬剤師	172	207	198																																			
リハビリ技師	125	69	59																																			
管理栄養士	13	10	11																																			
臨床工学技士	45	22	40																																			
合 計	544	438	510																																			
08	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</li> <li>感染制御チーム (ICT) が中心となり、定期的に各部署・部門の観察、指導 (院内巡視) を行い、院内感染対策マニュアルの遵守状況について</li> </ul>		<p>&lt;新生児センターについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標手指衛生回数の達成は 73% の職員が 70% 以上であった。</li> <li>毎週火曜日、監視培養を行い、感染症発症患者はなかった。</li> </ul>		III	感染制御支援システムが100%稼働しており評価できる。																																

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
	<p>確認及び評価を行う。また、平成25年度にICTの各部署のアウトブレイク時の介入基準や各報告体制を中心に院内感染防止マニュアルを改訂したため、新しいマニュアルに沿って感染防止対策を行う。その他、感染防止委員会及び感染症対策部、ICTが中心となり、全職員を対象とした研修会を年4回開催する。</p> <p>さらに、平成25年度に「感染制御支援システム」が導入された。これを用いて、感染状況、臨床経過、治療状況などを多面的かつ迅速に把握し、効果的な感染制御を目指す。</p>	<p>・6月・10月・3月でレベルIにあたる3人の新規保菌患者が発生したため、ICT・新生児センター合同カンファレンスを開催した。手指衛生のタイミングや医療環境と患者環境について討議し、周知徹底を図った。</p> <p>・新生児センターの拡張工事計画があり、H28年1月から開始し、6月に完成予定である。</p> <p>[レベルI]</p> <p>1カ月の新規MRSA保菌者が3人以上、あるいはMRSA感染症患者の確認の時点で、院長報告とともに緊急ICTミーティングを開催し、緊急に新生児センターへの介入（ラウンド）を行う。</p> <p>[レベルII]</p> <p>1カ月の新規MRSA保菌者が10人以上となった場合、あるいはMRSAによる院内感染症死亡事例が確認された時点で、岐阜市保健所、岐阜県（岐阜県院内感染対策協議会）への報告・相談を行う。</p> <p>[レベルIII]</p> <p>レベルIIの段階で同協議会からの指導を受けて感染対策を行ったにも関わらず、一定の期間のうちに院内伝播による新規保菌患者が発生した場合は、緊急の感染防止委員会を開き対策を協議するとともに、岐阜市保健所に報告、岐阜県院内感染対策協議会に調査指導を依頼、岐阜県周産期医療協議会に事前調整を依頼することとした。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>・ICTによる週1回の病棟ラウンドにより、環境面の改善指導を行い、環境構造の清浄化に努めた。</p> <p>・感染制御支援システムが稼働し、接触患者リストの作成、菌検出推移の把握が容易になった。各部署は、毎日病床マップで、感染患者を確認し、感染対策に役立てている。また、抗菌薬の使用量の確認や抗菌薬長期使用者の抽出を行い、抗菌薬の適正使用に利用している。</p> <p>・H27年1月より感染症専門医によるコンサルテーション、各種感染症患者や血液培養陽性患者の抗菌薬使用の指導（量・間隔、抗菌作用）が実施されている。</p>			

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度は感染防止研修会16回/年開催し、のべ参加人数は2,592人であった。</li> <li>手指消毒薬は、4月357,147L使用→3月511,826Lとなり、使用量は1.4倍に増加している。</li> <li>WHO手指衛生のタイミング別の遵守率は55%であった。</li> </ul>									
09	<ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</li> <li>待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見、要望に対して、各部署にて改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間を短縮できるよう検討を行う。</li> <li>診察の待ち時間の短縮を検討するため、各診療科の診察枠の見直し等を検討する。</li> <li>他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間の効率化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。</li> </ul>	<p>○外来待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。</li> <li>①検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。</li> <li>②看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。</li> <li>③入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。</li> <li>④病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。</li> </ul> <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22分</td> <td>25分</td> <td>24分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</li> <li>①待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。</li> <li>②診療科に即したパンフレットや図書を配置</li> <li>待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。</li> </ul>	H24	H25	H26	22分	25分	24分	IV		外来患者数が増加する中で、待ち時間の短縮に努めていることは高く評価できる。
H24	H25	H26									
22分	25分	24分									

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																			
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	論 点	検 証 (案)																	
		待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																				
		H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%																				
		H26.1月	35.6%	56.4%	8.0%																				
		H27.1月	35.0%	56.4%	8.6%																				
		※H26 年度中における待ち時間の検証 待ち時間調査においては30分以内が減少し、2時間以上が増加したが、平均待ち時間は1分短縮した。 <b>【外来患者数】</b> H25 : 314,349 人→H26 : 329,128 人 <b>【一日平均】</b> H25 : 1,288 人→H26 : 1,349 人																							
18	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。</p> <p>また、開放型病床未登録医療機関に対して、登録を積極的に依頼していく。</p>	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>紹介件数</td> <td>14,524 件</td> <td>15,079 件</td> <td>15,717 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介件数</td> <td>18,488 件</td> <td>19,587 件</td> <td>20,587 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域医療連携推進協議会の開催</p> <p>当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を4回実施した。</p>		H24	H25	H26	紹介率	63.3%	64.2%	63.4%	紹介件数	14,524 件	15,079 件	15,717 件	逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%	逆紹介件数	18,488 件	19,587 件	20,587 件	IV		紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持しており、高く評価できる。
	H24	H25	H26																						
紹介率	63.3%	64.2%	63.4%																						
紹介件数	14,524 件	15,079 件	15,717 件																						
逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%																						
逆紹介件数	18,488 件	19,587 件	20,587 件																						
20	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <p>MSWを中心として、地域のかかりつけ医や訪問看護師、介護支援専門員等との連携及び協力体制の充実を図るため、多職種による合同カンファレンスを積極的に開催するなど、連絡調整を密にする。また、地域医療連携センター部や退院調整室等の種々の診療データを常に分析し、機能強化を図るなど「病診連携システム」をさらに推進させる。</p> <p>病診連携の現状については、年4回開催される</p>	<p>・「患者さんの生活を支援するために、地域の関連機関と協力し看護ができるように努めます」を目標に実践した。</p> <p>・オープン病床クリニカルミーティングを年1回開催している。</p> <p>開催日：平成27年2月12日（木） 参加者：154人（うち院外：93人）</p> <p>・平成22年4月から介護支援連携を実施し、近隣の居宅介護事業者及び地域包括支援センターと連携を図った。</p> <p>・MSWの新規採用等による増員等（看護師からMSWへの振替）により、退院調整業務について効率化と機能強化を図った。</p>	III		患者の退院後を見据えて、努力していることが伺える。																				

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
	「地域医療連携推進協議会」に報告し、意見を伺う。加えて、県の「地域医療支援病院在宅医療連携強化モデル事業」についても参加、継続していく。	退院調整看護師 H25：2人→H26：2人 退院調整MSW H25：8人→H26：8人 ・当院の医師、MSW、看護師と退院後の在宅医療を担う医療機関の看護師や訪問看護ステーションの看護師とともに退院前合同カンファレンスを行っている。 ・また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対して、当院の看護師とケアプランを作成するケアマネージャーと連携して指導を行っている。 ・開放型病床(100床)の利用状況(利用率) <table border="1" data-bbox="676 550 1016 619"> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> <tr><td>49.4%</td><td>41.9%</td><td>41.4%</td></tr> </table> ・退院調整件数 <table border="1" data-bbox="676 651 1016 719"> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> <tr><td>1,127件</td><td>1,484件</td><td>1,777件</td></tr> </table> ・介護施設・ケアマネージャーからの連携連絡票数 <table border="1" data-bbox="676 783 1016 852"> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> <tr><td>255件</td><td>224件</td><td>308件</td></tr> </table> ・退院前合同カンファレンスの件数 <table border="1" data-bbox="676 916 1016 984"> <tr><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th></tr> <tr><td>83件</td><td>121件</td><td>145件</td></tr> </table>	H24	H25	H26	49.4%	41.9%	41.4%	H24	H25	H26	1,127件	1,484件	1,777件	H24	H25	H26	255件	224件	308件	H24	H25	H26	83件	121件	145件			
H24	H25	H26																											
49.4%	41.9%	41.4%																											
H24	H25	H26																											
1,127件	1,484件	1,777件																											
H24	H25	H26																											
255件	224件	308件																											
H24	H25	H26																											
83件	121件	145件																											
26	・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 重症心身障がい児のための入所病床(30床)を新規整備し、それに併せて小児医療分野の専門性の高い診察・検査・治療を行うための小児系機能及び外来化学療法部門などの機能を充実させた6階建ての新棟を整備する。 工期：平成25年10月～平成27年12月 また、1床分の追加整備の完了したPICU(小児集中治療室)において、独立した看護単位での2床稼働から4床稼働に増強し、小児集中治療を推進する。	・重症心身障がい児病棟の運営について 平成25年度までに「重症心身障がい児病棟運営検討WG」にて重症心身障がい児病棟の運営の基本方針、受け入れ対象児の想定と人数、職員の人員配置について検討を行った。 平成26年度は引き続き待機児童の状況などから具体的な入所児や当施設の役割、病棟の運用方法などの検討を行うとともに、先進地の視察や研究研修を行い、職員育成を図った。 具体的な入所児や病棟の運営方法などの検討を行った。 実務担当者レベルで業務を検討し、運営マニュアルを策定した。 ○先進地視察 ・社会福祉法人埼玉医大福祉会カルガモの家	Ⅲ		重症心身障がい児病棟については、小児医療の拠点として、大きな期待が寄せられている。策定したマニュアルなどにより、順調に運営できるように努められたい。																								

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																												
		医師：2人、看護師2人、事務3人 ・重症心身障がい児施設サルビア 医師：3人、看護師：2人、リハビリ技師：2人、 事務：2人 ・PICU（4床）における病床稼働状況 入院患者数：126人 稼働率：78.6%																																															
37	<p>・地域医療水準の向上 地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図り、オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会、症例検討会（クリニカルラウンド）を開催するなど、地域の医療機関へのハード・ソフト両面での支援を推進する。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進 ・CTやMRI等の高度先進医療機器については、地域連携病院からの依頼を受けて実施するほか、郡上市民病院との遠隔画像診断を実施するほか、全自動免疫染色装置の導入による高山赤十字病院をはじめとする他の医療機関からの病理標本の作製や病理診断を受託するなど、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の技術向上等に努める。</p> <p>○開放型病床の利用及び共同診療の推進 ・岐阜県総合周産期母子医療センターの休日・夜間には、産科開業医等8名、小児急病センターについては、各務原市医師会所属小児科開業医8名（各1回/月）の協力を得て小児夜間・休日診療体制を確立し、また、地域の勤務医（2名）の協力を得て、地域連携、夜間・休日診療を実施するなど、救急搬送など「断らない医療」に取り組む。</p>	<p>・オープン病床クリニカルミーティングを開催し、地域の医療機関との連携を強化した。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進 ・高度医療機器の共同利用実績（件数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>426</td> <td>356</td> <td>405</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>323</td> <td>389</td> <td>367</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>65</td> <td>47</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>374</td> <td>533</td> <td>216</td> </tr> </tbody> </table> <p>○輪番制実施状況（日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>259</td> <td>259</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>66</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>○共同診療の推進 平成21年度から引き続き、総合周産期母子医療センターの夜間・休日診療へ6人の開業医師が協力。小児夜間急病センターには各務原市医師会所属医師8人が小児輪番日において共同診療を実施。</p> <p>○開放型病床の利用状況及び共同指導回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>15.3</td> <td>12.3</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>49.4</td> <td>41.7</td> <td>41.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 共同指導回数は月平均</p>	機器名	H24	H25	H26	CT	426	356	405	MR I	323	389	367	PET	65	47	50	遠隔画像診断機器	374	533	216		H24	H25	H26	小児	259	259	259	内科・外科系	66	64	65	項目・年度	H24	H25	H26	共同指導(回)	15.3	12.3	10.7	病床利用率(%)	49.4	41.7	41.4	III		開放型病床の利用状況が低下しているため、病床数などの検証が必要である。
機器名	H24	H25	H26																																														
CT	426	356	405																																														
MR I	323	389	367																																														
PET	65	47	50																																														
遠隔画像診断機器	374	533	216																																														
	H24	H25	H26																																														
小児	259	259	259																																														
内科・外科系	66	64	65																																														
項目・年度	H24	H25	H26																																														
共同指導(回)	15.3	12.3	10.7																																														
病床利用率(%)	49.4	41.7	41.4																																														
54	<p>・入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り</p>	<p>・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えとともに、既存使用品目も継続して価格交</p>	IV		効率的な経営において、診療材料費の削減効果は大きく、その努力は評価できる。																																												

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																														
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																													
	組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。	<p>渉を行い、節減効果を維持した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。</li> <li>診療材料については、ベンチマークを活用し 5,230 品目の価格交渉を行い、約 9,900 万円のコスト削減ができた。</li> </ul>																																																																																
55	<p>・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、併せて病診連携による退院調整を促進し、在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。</p> <p>また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p>	<p>・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い病診連携を推進した。</p> <p>・開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>15.3</td> <td>12.6</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>49.4</td> <td>41.9</td> <td>41.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・MR I、C T、胃カメラ等の検査は登録医からの FAX により予約が可能となっている。</p> <p>○実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>F A X 予約</td> <td>1,087</td> <td>1,075</td> <td>1,130</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26/H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外 来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>314,349</td> <td>329,128</td> <td>104.7%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,288</td> <td>1,349</td> <td>104.7%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,671</td> <td>4,940</td> <td>105.8%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>14,860</td> <td>15,011</td> <td>101.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">入 院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>194,504</td> <td>194,126</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>533</td> <td>532</td> <td>99.8%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>14,130</td> <td>14,687</td> <td>103.9%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>72,644</td> <td>75,659</td> <td>104.2%</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>12.6</td> <td>12.2</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>%</td> <td>90.3</td> <td>90.1</td> <td>99.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H24	H25	H26	共同指導(回)	15.3	12.6	10.7	病床利用率(%)	49.4	41.9	41.4	項目・年度	H24	H25	H26	F A X 予約	1,087	1,075	1,130			H25	H26	H26/H25	外 来	患者数	人	314,349	329,128	104.7%	平均患者数	人/日	1,288	1,349	104.7%	診療額	百万円	4,671	4,940	105.8%	診療単価	円/日	14,860	15,011	101.0%	入 院	患者数	人	194,504	194,126	99.8%	平均患者数	人/日	533	532	99.8%	診療額	百万円	14,130	14,687	103.9%	診療単価	円/日	72,644	75,659	104.2%	在院日数	日	12.6	12.2	96.8%	病床利用率	%	90.3	90.1	99.8%	III		入院における病床利用率が 90%を超えており評価できる。
項目・年度	H24	H25	H26																																																																															
共同指導(回)	15.3	12.6	10.7																																																																															
病床利用率(%)	49.4	41.9	41.4																																																																															
項目・年度	H24	H25	H26																																																																															
F A X 予約	1,087	1,075	1,130																																																																															
		H25	H26	H26/H25																																																																														
外 来	患者数	人	314,349	329,128	104.7%																																																																													
	平均患者数	人/日	1,288	1,349	104.7%																																																																													
	診療額	百万円	4,671	4,940	105.8%																																																																													
	診療単価	円/日	14,860	15,011	101.0%																																																																													
入 院	患者数	人	194,504	194,126	99.8%																																																																													
	平均患者数	人/日	533	532	99.8%																																																																													
	診療額	百万円	14,130	14,687	103.9%																																																																													
	診療単価	円/日	72,644	75,659	104.2%																																																																													
	在院日数	日	12.6	12.2	96.8%																																																																													
	病床利用率	%	90.3	90.1	99.8%																																																																													
57	<p>・総合入院体制加算（旧：入院時医学管理加算）として退院時の開業医への紹介率（退院時加算等 40%以上）の向上 平成 26 年度の診療報酬改定に柔軟に対応し、診</p>	<p>・総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険医療機関との連携のもとに、診療情報提供料（I）の加算を算定する退院患者数及び治癒し通院の必要のない患者数が直近の 1ヶ月間の総退院患者数のうち、4割以上であること」（退院時加算 40%以上）が達成できた。</p>	IV		紹介率、逆紹介率、退院時加算ともに年度計画を大きく上回っており、高く評価できる。																																																																													

項目 No.	H26 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
	<p>療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など収入への影響が大きい加算については、その算定基準（要件）を維持する。</p> <p>総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算：紹介率50%以上、逆紹介率70%以上</p>	<p>・実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>14,524件</td> <td>15,079件</td> <td>15,717件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> <td>83.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>18,488件</td> <td>19,587件</td> <td>20,587件</td> </tr> <tr> <td>退院時加算</td> <td>50.2%</td> <td>47.8%</td> <td>50.1%</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	紹介率	63.3%	64.2%	63.4%	紹介実施件数	14,524件	15,079件	15,717件	逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%	逆紹介実施件数	18,488件	19,587件	20,587件	退院時加算	50.2%	47.8%	50.1%			
	H24	H25	H26																										
紹介率	63.3%	64.2%	63.4%																										
紹介実施件数	14,524件	15,079件	15,717件																										
逆紹介率	75.7%	78.1%	83.1%																										
逆紹介実施件数	18,488件	19,587件	20,587件																										
退院時加算	50.2%	47.8%	50.1%																										
59	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率101.6%、及び職員給与費対医業収益比率47.5%と年度計画を上回る結果となった。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>103.1%</td> <td>103.2%</td> <td>101.6%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>47.2%</td> <td>47.4%</td> <td>47.5%</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	経常収支	103.1%	103.2%	101.6%	職員給与費	47.2%	47.4%	47.5%	IV		<p>経常収支比率、職員給与費対医業収益比率が年度計画を上回っており、経営努力を評価できる。</p>												
	H24	H25	H26																										
経常収支	103.1%	103.2%	101.6%																										
職員給与費	47.2%	47.4%	47.5%																										